

黒は一層濃く、カラーはより鮮やかに発色するゲルインクボールペン

『uni-ball one (ユニボール ワン)』シリーズより

“ころんと、可愛い。”『uni-ball one P』登場

手に収まる上質感がコンセプトの新しいデザイン

**3月15日(水)発売**

三菱鉛筆株式会社(本社:東京都品川区 社長:数原滋彦)は、黒は一層濃く、カラーはより鮮やかに発色するゲルインクボールペン“ノート、くつきりキマる。”『uni-ball one(ユニボール ワン)』シリーズから、手に収まるサイズと上質な書き心地が特長の『uni-ball one P』(参考価格 550円:税抜 500円/インク色:黒/ボール径:0.38mm、0.5mm/軸色:8種)を3月15日(水)に発売いたします。

『uni-ball one』シリーズは、シンプルな軸デザインに加え、各シリーズのテーマ性、印象的なインク色名や軸色名などの独自の世界観が好まれております。

今回新発売する『uni-ball one P』は「手に収まる上質感」をコンセプトに、ころんとしたミニマルでかわいらしいフォルムと上質な書き心地を両立した新しいモデルです。商品名にある“P”は、手になじむ上質さどこへでも持っていきたくなる世界観を表すよう Pocket(ポケット)の頭文字から名付けております。短寸で太めの丸みを帯びた形状とほんのりとしたマットなカラーリングは、愛らしい見た目で日常に癒やしを与えます。また、手の平に収まる最適なサイズや重さに設計し、ペン先には金属製のスタビライザー機構を搭載するなど『uni-ball one』シリーズから継承された上質な書き心地にもこだわりを詰め込んだ、いつもそばに置いておきたいアイテムに仕上げました。



『uni-ball one (ユニボール ワン) P』

左から:みかん、コーヒー、ソーダ、もも、はっか、バナナ、ヨーグルト、ぶどう



## 【商品特長】

### ■ころんとした愛らしいフォルムと手に収まるサイズ感

“ころんと、可愛い。”がキャッチコピーのぽってりとした愛らしいフォルムです。まるで一般的な筆記具をデフォルメしたような短寸で太めの丸みを帯びた形状になっており、ノック棒も面が広く角の取れたデザインを採用しております。ミニマルでぽってりとかわいらしい『uni-ball one P』はかばんにも入れやすく、いつでもそばに置いておきたくなるアイテムです。

### ■『uni-ball one』シリーズの上質な世界観を継承した書き心地

「手に収まる上質感」をコンセプトに、デザイン性だけでなく、持ちやすさ、書きやすさにもこだわりました。

- ・通常のボールペンより短寸でかわいらしいフォルムでありながらも、さっと手に取って書き始めるのに、最適な長さ・太さ・重さに調整して、筆記時の持ちやすさにもこだわりました。
- ・筆記時に手に当たらない長さで幅広の新形状クリップは、『uni-ball one』シリーズと同様に可動式でノートや手帳にも挟みやすくなっています。
- ・ペン先には金属製のスタビライザー機構を搭載し、安定した書き心地を実現しております。
- ・リフィルは『uni-ball one』シリーズと共通で、にじまずくっきりと発色するインクを搭載しています。



uni-ball one P



uni-ball one



uni-ball one F

軸サイズ比較

### ■ほんのりと甘いキャンディーをイメージした日常に癒やしを与える軸色

ほんのりと甘いキャンディーをイメージしたカラー8種を軸色に採用いたしました。小さくていとおいしい『uni-ball one P』の世界観にマッチしたマットなカラーリングは、持っているだけで癒やされます。



## 【商品概要】

商品名	uni-ball one (ユニボール ワン) P
品名	UMN-SP-38
軸色	みかん、コーヒー、ソーダ、もも、はっか
インク色	黒
ボール径	0.38mm
参考価格	1本 550円 (税抜 500円)
替芯	UMR-38S/UMR-05S

商品名	uni-ball one (ユニボール ワン) P
品名	UMN-SP-05
軸色	バナナ、ヨーグルト、ぶどう
インク色	黒
ボール径	0.5mm
参考価格	1本 550円 (税抜 500円)
替芯	UMR-38S/UMR-05S

## 【ご参考】『uni-ball one(ユニボール ワン)』について

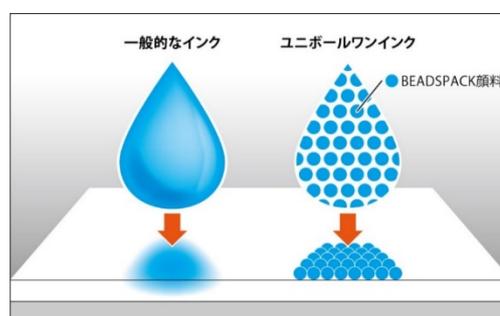
2020年2月に新発売した、“ノート、くっきりキマる。”『uni-ball one』は、“濃くくっきり書ける”という機能や、“生活空間に溶け込むシンプルさ”というデザイン性により、学生から社会人までの幅広い層から好評を得ています。

### ■新開発の「ユニボール ワンインク」の特長

『uni-ball one』のインクは、一般的なゲルインクと異なり、色材の紙繊維への浸透を極力抑える、新しい顔料を使用しています。

「ユニボール ワンインク」に使用している顔料は、従来の色材を粒子中に閉じ込めた独自開発のビーズパック顔料です。

インクの色材となる顔料を粒子中に閉じ込め、粒子のサイズを大きくすることで、色材の紙面への浸透を極力抑えます。それにより、紙面上の色材が本来の色を発色し、黒はより濃く、カラーはより鮮やかに発色します。



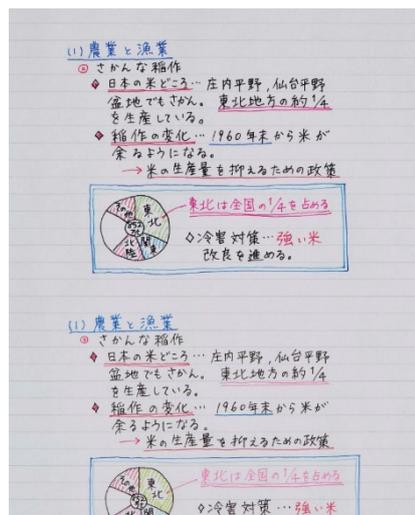
## ① 黒は一層濃く、カラーはより鮮やかに発色し、記憶に残りやすい、くっきりキマる文字が書ける

一般的なゲルインクと比べて、黒色はより一層濃く発色します。

当社と立命館大学との共同研究により、黒色に関して、濃く、くっきりとした文字ほど記憶に残りやすいことが分かりました。一般的なゲルインクよりも濃い『uni-ball one』を使用することで、ノートを見返したときに印象に残りやすい文字を書くことができます。



従来品と『uni-ball one』濃さ比較

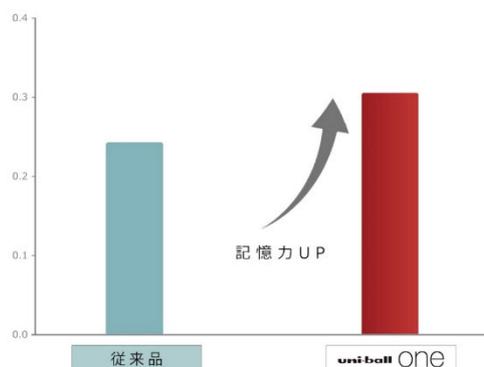


上段が『uni-ball one』、  
下段が従来品を使用して筆記したノート例

### <立命館大学との共同研究について>

立命館大学総合心理学部 服部雅史教授監修の下、高校生を対象に認知心理学の実験手法である「記憶再生課題」を行いました。濃淡の違うボールペンで手書き文字の記憶成績を比較したところ、『uni-ball one』の濃い黒インクで書いた文字の方が一般的なゲルインクと比べて正答率は高く、再生率が高いという結果を得ました。

この研究結果については、日本基礎心理学会第 38 回大会にて報告いたしました。



<実験監修> 立命館大学総合心理学部 服部雅史教授

## ② にじまず、速乾性の高いインク

一般的な速乾性インクは、紙面へのインクの浸透を速くすることで速乾を実現しています。そのため、インクのにじみや裏抜けが起こることがありました。

新開発の「ユニボール ワンインク」は、インク内の固形と液体の成分比を変えることで、液体成分を素早く紙面へ浸透させながらも、固形分である色材を紙面に残すことを可能にしています。紙面への浸透が速い速乾性インクでありながら、色材が紙面に吸収されるのを抑えるため、にじまず、裏抜けしません。

## ■ シンプルでストレートな軸デザイン

軸デザインはシンプルでストレートな形状です。オーバル形状の「オープンワイヤークリップ」は、スタイリッシュなデザイン性に加え、ノートや手帳に挟みやすい可動式のクリップとなっており、機能性も兼ね備えた仕様です。

〈報道関係 お問い合わせ先〉  
三菱鉛筆株式会社 経営企画室 広報担当 飯野、庫田  
TEL 03-3458-6222/FAX 03-3458-6217

※ 商品に関するお問い合わせは「三菱鉛筆お客様相談室」でお受けしています。TEL 0120-321433